

2019年度 入学試験問題

日本史 世界史 政治・経済 数学

日本史	1～11ページ
世界史	13～28ページ
政治・経済	29～43ページ
数学	45～46ページ

注意

- (1) 日本史、世界史、政治・経済、数学から1科目を選択し解答すること。
- (2) 解答用紙は各科目別になっている。
選択しない科目の解答用紙は、試験開始30分後に回収する。
なお、回収後は科目の変更はできない。
- (3) 解答用紙には受験番号の記入欄がそれぞれ次のようにある。
日本史……………3か所
世界史……………3か所
政治・経済………3か所
数 学……………表面に2か所、裏面に1か所、計3か所
各箇所とも正確、明瞭に記入すること。
- (4) 解答用紙には氏名の記入欄が1か所ある。正確、明瞭に記入すること。
- (5) 解答はすべて解答用紙の所定欄に記入すること。
- (6) 問題紙の余白は計算に使用してもよい。
- (7) 問題紙を解体して使用してはならない。
- (8) 試験開始後、問題紙に落丁・損傷がないか確認すること。
- (9) 試験終了後、問題紙は各自持ち帰ること。

日 本 史

〔 I 〕 次の (1)(2) の古代・中世の日本 (倭) と東アジアの状況や外交に関する文章を読んで、下記の【設問A】【設問B】に答えよ。(50点)

(1) 3世紀中頃から後半になると、奈良盆地を中心に西日本一帯には大きな墳^a丘をもつ前方後円墳^アが出現した。そして4世紀後半になると、この前方後円墳は九州南部から東北南部まで及んだ。このことは、奈良盆地を中心に近畿地方の勢力が連合して形成したヤマト政権の勢力が、これらの地域まで拡大したことを示している。

この時期の倭と朝鮮半島との関係は、高句麗の (b) の碑文などから以下のように知ることができる。中国王朝が南北に分裂して影響力が弱まったことを契機に、中国東北部におこった高句麗は勢力を拡大し、313年には中国王朝の出先機関である楽浪郡と帯方郡を滅ぼした。この頃、朝鮮半島南部には小国連合からなる馬韓・弁韓・辰韓が形成されていたが、4世紀中頃には馬韓諸国から百済が、辰韓諸国から新羅がおこった。弁韓の旧地に分立していた伽耶諸国や百済と密接な関係を持っていた倭は、(b) の碑文によると391年に高句麗^イと交戦したとされる。

その後の倭の状況は、中国の歴史書である (ウ) において知ることができる。「倭の五王」と呼ばれる讚・珍・済・興・武は、5世紀代に中国の南朝に何度も朝貢したことが記されている。倭と中国との密接な関係は、この当時の古墳の副葬品である大陸系の鉄製の甲冑・馬具や金銅製の装身具からも窺うことができる。

古墳時代における倭と中国・朝鮮半島との関係は、政治的・外交的なものだけに留まらず、文化面においても大きく関係していた。5世紀になるとヤマト政権は、主に朝鮮半島からの渡来人を受け入れ、韓鍛冶部・陶作部・錦織部・鞍作部などの技術者集団を組織した。また、漢字を導入したのもこの頃で、史部を組織して宮廷の記録や外交文書も作成した。さらに6世紀になると、百済から儒教や仏教なども伝わり、これらは政治的な勢力とも密接に^オか^カ

関係していった。

- (2) 13世紀のはじめ、モンゴル高原で遊牧を生業とするモンゴル諸部族を統合したチンギス=ハンは、中央アジアから南ロシアに及ぶ広大なモンゴル帝国を建国した。その後、朝鮮半島にも勢力を伸ばしたモンゴル帝国は1259年には高麗を属国とし、チンギス=ハンの孫であるフビライ=ハンは都を中国北部の(キ)に移して1271年には国号を元に改め、東南アジアへも勢力を拡大した。

フビライ=ハンは1266年から3回、日本に朝貢を求めて使者を派遣したが、時の執権であった(ク)はこれに取り合わず、1271年には九州の御家人に九州北部の要地を防備させる異国警固番役を課した。そこでフビライ=ハンは1274年に高麗軍も含めた合計2万8千の兵を派遣し、対馬・壱岐を攻めて博多にも上陸した。元軍は集団戦術と火薬の威力で圧倒したが、暴風雨もあり撤退した(文永の役)。

幕府は元軍の再襲来に備え、九州の御家人に博多湾に沿って(h)を構築させた。フビライ=ハンは1279年に南宋を滅ぼすと、1281年には再び高麗軍も含めた合計14万の兵を九州北部に派遣した。しかし、現在の長崎県の伊万里湾で集結しているときに、またもや暴風雨に襲われ、甚大な被害を受けて撤退した(弘安の役)。

日本は10世紀以降、中国を統一した宋をはじめその後の元とも国交を開かなかった。しかし、私的貿易や僧侶・商人の往来は盛んに行われ、この状態は足利義満が登場して日明貿易が始まるまで続いた。

【設問A】文中の下線部や空欄のa～jについて、下記の問いに答えよ。

- この時期の倭の状況を記す、中国の歴史書で、邪馬台国や卑弥呼も登場する『三国志』の一部の通称を、解答欄I-Aに漢字5字で記せ。
- 現在の中国の集安にある高さ約6.4mで、広開土王碑とも呼ばれる石碑の名称を、解答欄I-Aに漢字で記せ。
- 「倭の五王」が『古事記』や『日本書紀』に記されたどの天皇に当たるかは諸説があるが、5番目の武については定説化している。古墳から出土した鉄剣や鉄刀にもワカタケル(獲加多支鹵)大王として登場する

この天皇の名を、解答欄 I - A に漢字 2 字で記せ。

- d. このことを示す場所として「海の正倉院」とも呼ばれ、近年、世界文化遺産にも登録された福岡県の玄界灘沖に浮かぶ島の名称を、解答欄 I - A に 3 字で記せ。
- e. 陶作部も関わったとされ、弥生土器以来の系統ではなく、窯を使って高温で焼く硬質の土器の名称を、解答欄 I - A に漢字 3 字で記せ。
- f. この時活躍した肥後出身の御家人で、その活躍ぶりを絵巻物に残した人物は誰か。解答欄 I - A に漢字 4 字で記せ。
- g. 元軍が使用したもので、陶器製などの球の中に火薬や鉄片などを詰めて炸裂させる武器の名称を、解答欄 I - A にひらがなで記せ。
- h. 博多湾岸に約 20km にわたって石を積み上げて築かれ、通称元寇防塁とも呼ばれるこの施設の名称を、解答欄 I - A に漢字 3 字で記せ。
- i. 文永・弘安の 2 度にわたる役の総称を、解答欄 I - A に漢字 4 字で記せ。
- j. 元軍の 3 度目の襲来に備え、1293 年に幕府が博多に設置して北条氏一門に担当させた機関の名称を、解答欄 I - A に漢字 4 字で記せ。

【設問 B】文中の下線部や空欄のア～コについて、下記の問いに答えよ。

- ア. この時期の古墳の副葬品でないものはどれか。次のうちから選び、その番号を解答欄 I - B に記入せよ。
 - 1. 碧玉製腕飾
 - 2. 青銅製武器
 - 3. 三角縁神獣鏡
 - 4. 画文帯神獣鏡
- イ. このことを示すものとして、369 年に百済王の太子が倭王のために作られたとされる、61 字の銘文が刻まれたものを何と呼ぶか。次のうちから選び、その番号を解答欄 I - B に記入せよ。
 - 1. 稲荷山古墳出土鉄剣
 - 2. 江田船山古墳出土鉄刀
 - 3. 石上神宮七支刀
 - 4. 隅田八幡宮人物画像鏡
- ウ. 「倭の五王」を中心に、5 世紀代の中国と倭や朝鮮半島の国々との関係を記した中国の歴史書の名称を何と呼ぶか。次のうちから選び、その番号を解答欄 I - B に記入せよ。

1. 『漢書』地理誌
2. 『後漢書』東夷伝
3. 『宋書』倭国伝
4. 『隋書』倭国伝

エ. 「倭の五王」には仁徳天皇が含まれるとも考えられている。仁徳陵とも伝えられる、日本最大の全長約486mの前方後円墳を何と呼ぶか。次のうちから選び、その番号を解答欄I-Bに記入せよ。

1. 箸墓古墳
2. 大仙陵古墳
3. 石舞台古墳
4. 高松塚古墳

オ. 8世紀初めに作成された歴史書である『古事記』『日本書紀』のもとになり、史部も作成にかかわったとされるものを何と呼ぶか。次のうちから選び、その番号を解答欄I-Bに記入せよ。

1. 帝紀・旧辞
2. 神話・伝承
3. 太占・盟神探湯
4. 祈年祭・新嘗祭

カ. 仏教を日本にもたらしたとされる百済の人物は誰か。次のうちから選び、その番号を解答欄I-Bに記入せよ。

1. 弓月君
2. 聖明王
3. 王 仁
4. 裴世清

キ. 新たに都となった場所は現在の北京であるが、当時のその地名を何と呼ぶか。次のうちから選び、その番号を解答欄I-Bに記入せよ。

1. カラコルム
2. 合 浦
3. 杭 州
4. 大 都

ク. 8代執権であったこの人物は誰か。次のうちから選び、その番号を解答欄I-Bに記入せよ。

1. 北条実時
2. 北条時頼
3. 北条時宗
4. 北条貞時

ケ. この伊万里湾にあり、近海からは元軍の遺品も引揚げられている島を次のうちから選び、その番号を解答欄I-Bに記入せよ。

1. 五 島
2. 平戸島
3. 鷹 島
4. 志賀島

コ. 幕府は寺院の造営などの資金を調達するために、たびたび貿易船を派遣した。その対象にならなかった寺院はどれか。次のうちから選び、その番号を解答欄I-Bに記入せよ。

1. 建長寺
2. 東福寺
3. 天龍寺
4. 醍醐寺

〔Ⅱ〕 次の文章①②を読んで、下記の【設問1】～【設問8】について答えよ。

(50点)

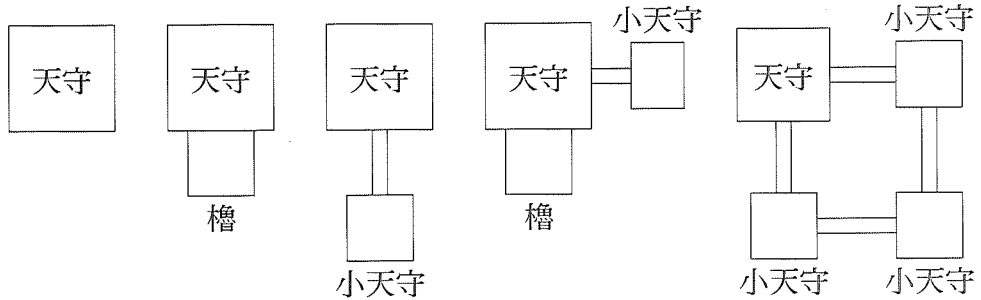
① 織田信長から豊臣秀吉にかけての時代の文化の総称である桃山文化の担い手は、この時代に活躍していた大名およびそれと結びついた豪商であった。この時代を反映して、豪壮・雄大な気風が好まれ、それが文化の特徴となった。大名は、その威光を示すものとして、城を位置づけるようになり、城には遙か遠方からも見ることができる富と権力の象徴として天守閣が造られた。代表的なものとして、ユネスコの世界文化遺産リストにも登録された（ア）城は、漆喰で塗られた城壁の美しさを鳥にたとえて、別名、（イ）城とも呼ばれている。この城は、関ヶ原の合戦の後、徳川家康の婿として播磨に大封を得た大名である（ウ）の居城として慶長年間に現在の姿に整えられた。五層七重の大天守を中心に、[a] の天守閣形式で造られている。その城の中には、寝殿造に禅的な要素を加味しつつ、室町時代以降に成立した武家の住宅様式で、今日の日本住宅の基本にもなっている（エ）の御殿が築かれ、その内部を飾るものとして障壁画が描かれた。

一方、茶の湯が豪商たちから権力者である大名たちの間に広まると、信楽・備前・楽焼・瀬戸などの陶器の茶器としての需要が高まった。堺の豪商から信長の茶頭として仕えた（オ）は、秀吉の茶頭としても引き続き活躍した。（オ）は、豊臣政権の大名に対する茶の湯の指南役であっただけでなく、その立場を活用して、秀吉の意向を内々に大名へ伝え、秀吉と大名の間を調整する役割も果たした。（オ）によって、茶の湯は権力者の保護を受けながら大成されていった。

【設問1】空欄（ア）～（オ）に入るもっとも適切な語句ないし人物名を漢字で解答欄Ⅱ－Aに記せ。

【設問2】 [a] の天守閣形式をあらわすものはどれか。下図からふさわしい番号を選び、解答欄Ⅱ-Bに記入せよ。

1. 独立式 2. 複合式 3. 連結式 4. 複合連結式 5. 連立式



【設問3】 豊臣秀吉は茶の湯を振興するとともに、京都にかつて存在した大内裏の跡に城郭風の邸宅を造営した。この城郭風の邸宅の名称を下記から選び、その番号を解答欄Ⅱ-Bに記入せよ。

1. 智積院 2. 聚楽第 3. 三宝院 4. 二条城
5. 通天閣

② 元禄文化は、京都・大坂などの畿内地域の名称でもあった（カ）を中心に、出版や演劇を通じて展開した町人文化として特徴づけられる。たとえば、（キ）は西山宗因に師事した俳諧師で、仮名草子を発展させて、『世間胸算用』のように町人生活を写實的に描写した。あるいはまた、（ク）は、浄瑠璃作者として竹本義太夫のために作品を書く一方で、坂田藤十郎のために歌舞伎脚本も書き、時代物・世話物を通じて、義理人情の葛藤を細やかに描いた。

これに対して江戸時代後期の化政文化は、文化の担い手がさらに広範な庶民層へと拡大し、中央と地方との文化交流をさらに活性化させ、文化の大衆化を促した。たとえば、庶民生活を会話中心に写した小説形式である（ケ）は、十返舎一九・式亭三馬^bらによって代表され、あるいはまた勸善懲惡・因果応報の趣旨で書かれた歴史的伝奇小説である（コ）では、曲亭（滝沢）馬琴^cが著名であった。

【設問4】 空欄（カ）～（コ）に入るもっとも適切な語句ないし人物名を漢字で解答欄Ⅱ-Aに記せ。

【設問5】 空欄（キ）に入る人物の著した作品2つを下記から選び、それら

の番号を解答欄Ⅱ－Bに記入せよ。

- | | |
|-------------|-------------|
| 1. 『武道伝来記』 | 2. 『奥の細道』 |
| 3. 『折たく柴の記』 | 4. 『心中天網島』 |
| 5. 『日本永代蔵』 | 6. 『野ざらし紀行』 |

【設問6】空欄（ク）に入る人物の著した作品2つを下記から選び、それらの番号を解答欄Ⅱ－Bに記入せよ。

- | | |
|-------------|------------|
| 1. 『童子問』 | 2. 『冥土の飛脚』 |
| 3. 『武家義理物語』 | 4. 『好色一代女』 |
| 5. 『猿蓑』 | 6. 『曾根崎心中』 |

【設問7】下線部bの人物が著した作品2つを下記から選び、それらの番号を解答欄Ⅱ－Bに記入せよ。

- | | |
|--------------|------------|
| 1. 『東海道中膝栗毛』 | 2. 『義経千本桜』 |
| 3. 『浮世風呂』 | 4. 『浮世床』 |
| 5. 『本朝廿四孝』 | 6. 『仕懸文庫』 |

【設問8】下線部cの人物が著した作品2つを下記から選び、それらの番号を解答欄Ⅱ－Bに記入せよ。

- | | |
|--------------|------------|
| 1. 『南総里見八犬伝』 | 2. 『雨月物語』 |
| 3. 『修紫田舎源氏』 | 4. 『北越雪譜』 |
| 5. 『仮名手本忠臣蔵』 | 6. 『椿説弓張月』 |

〔Ⅲ〕 次の（1）～（5）は日本の近代国家の形成に関する政治制度の変遷とそれにとともなう諸制度の改革について記述したものである。これを読んで下記の【設問A】～【設問C】に答えよ。 (50点)

- (1) 1867年10月14日に15代将軍徳川慶喜は大政奉還を申し出て政権を天皇に返還したが、岩倉具視をはじめ討幕勢力は、12月9日に王政復古の大号令が宣言されたことを受けて、総裁・議定・参与の三職を設置して天皇親政による政権を樹立した。政府は1868年閏4月に〔ア〕を公布して政治組織を定めた。これによれば中央に太政官が置かれ、議政官・行政官・刑法官などの

7官を置き、建前として三権分立の形態をとった。議政には議定と参与が所属する上局と各藩代表の貢士が属す下局に分かれ、行政には最初は神祇・会計・軍務・外国の4官が置かれ、1869年4月には民部官が加わって5官となった。一方、全国には府と県が置かれたが、藩は従来通り藩主が治める府藩県三治制をとっていた。中央集権化を目指した政府は、1869年1月に薩摩・長州・土佐・（①）の4藩主が連名で版籍奉還を申し出ると、同年6月には諸藩に版籍奉還を命じ、旧藩主を（②）という職名に任じた。しかし、徴税・軍事については依然として旧藩主が掌握していた。そこで1871年に政府は廃藩置県を断行し、地方には中央政府から地方官が派遣された。これにより、（②）は廃止された。また、太政官のもとに三院^aが置かれた。

(2) 明治政府は旧幕府の封建制度を撤廃する政策を展開した。版籍奉還や廃藩置県を通して旧制度が改革されてきたが、版籍奉還と共に公卿と大名は〔イ〕と呼ばれ、各藩の藩士と徳川家の家臣は士族、その中でも下級武士は卒、農工商は平民と呼ばれた。（③）年8月には被差別身分の呼称を廃止する法令が出され、平民と同等の扱いとされた。こうして四民平等の方向は明示されたが、様々な差別は依然として残り、とりわけ被差別部落の人々はそれ以降も差別撤廃のための運動^bに取り組み続けた。1876年には廃刀令が出され、武士の魂と称され、身分的特権の象徴であった帯刀が禁じられた。また、政府では（④）を中心に国民皆兵の精神のもとに近代的な軍隊を創設するため、1873年1月に徴兵令を定めた。戦うのは武士の特権ではなくなったのである。しかし、徴兵令には兵役免除の規定があって、戸主とその相続者、官吏、学生などの他に、代人料として270円を納めたものが免除の恩恵を受けた。政府は1878年に軍令機関として参謀本部を設置し天皇の直属とした。さらに1882年には軍人勅諭を發布し、軍隊教育を通して天皇に対する忠誠心を中心とした軍人精神を浸透させた。

(3) 1885年12月、政府は太政官制を廃止して、内閣制度を創設した。各省には国務大臣を置き、内閣総理大臣がこれらの国務大臣を統括した。天皇の側近には（⑤）を置いて、宮中の任務を担当する省として宮内省を設け、内閣の外に置いた。これは府中と宮中の別を明らかにして、政治から切り離す

ことを意図したものであった。初代の内閣総理大臣には伊藤博文が就任したが、10人の閣僚の中で、通信大臣で幕臣の榎本武揚と農商務大臣で土佐藩出身の（⑥）を除き、8名は薩摩・長州の出身者であった。地方制度の改革にあたったのは内務大臣の山県有朋であった。山県は来るべき帝国議会の開設を念頭に、1888年には市制・町村制の公布、1890年には府県制・郡制の公布を通して地方自治の確立を図った。郡会は、当初は町村会選出議員と大地主の互選による議員から構成されていた。市町村には市会・町村会が設置され、議員は直接国税2円以上の納税者による制限選挙によって選ばれた。市長は市会が推薦する者から〔ウ〕が任命した。町村長は町村会から公選で選ばれることになっていたが、無給であった。これらの地方議員は有産階層によって選ばれるところから、地方の名望家が選出されることになっていた。

- (4) 大日本帝国憲法発布の直後に、（⑦）首相は、政府の政策は議会や政党の意向に左右されてはならないとする方針を表明していた。1890年に実施された第1回衆議院議員総選挙では、立憲自由党や立憲改進黨などの民党が過半数を占め、政府系の吏党を上回った。衆議院議員の選挙法によれば、選挙権は満25歳以上、被選挙権は満30歳以上の男性で、直接税15円以上の納税者となっていた。第1回の帝国議会では軍備拡張を主張する山県有朋首相に対して民党は民力休養を主張して激しく対立した。第2回の帝国議会でも（⑧）首相は民党と対立したが、衆議院を解散して第2回の総選挙をおこなった。その際、内務大臣の〔エ〕が中心となって、民党議員に対する妨害などの選挙干渉をおこなったが、またもや民党が過半数を占めた。第2次伊藤内閣でも、海軍の軍備拡張をめぐって民党と対立したが、明治天皇の調停で妥協が行われた。しかし、内閣に自由党の板垣退助を入閣させたことに、吏党の国民協会や立憲改進黨などが反発し、対外強硬策を主張して政府と対立した。
- (5) 大正時代になると、デモクラシーの風潮がおこり、「憲政擁護・閥族打破」をスローガンとした護憲運動が全国に広がった。1918年の米騒動の責任を受けて寺内正毅内閣が退陣し原敬内閣が成立して本格的な政党内閣が誕生した。

原敬が暗殺された後は政友会の総裁となった（ ⑨ ）の内閣が成立したが党内の対立もあり、短命に終わった。このあと政党内閣制は低迷したが、1924年に清浦奎吾内閣が成立すると、護憲三派と呼ばれるグループが登場し、普通選挙の実施や憲政擁護を主張した。1924年の総選挙では護憲三派が勝利し、1932年のある事件で犬養毅内閣が倒れるまで、政党内閣が続いた。その後、海軍大将であった（ ⑩ ）の内閣が挙国一致をスローガンとして登場した。これを契機に軍部が政治への関与を強めてゆき、学問や思想にも干渉するようになった。日中戦争がはじまると軍事色は一層強まり、1938年4月に政府は国家総動員法を公布し、戦争遂行に必要な動員を可能にした。戦時体制が学問の自由や国民の権利を統制するようになった。真珠湾攻撃によって日米戦争に突入した翌年の総選挙は政府の支援を受けた候補が多数派を占め、選挙後は彼らを中心に〔 オ 〕が組織され、国民の意見を反映する議会本来の機能はほぼ停止し、日本は総力戦体制に突き進んだ。

【設問A】 下線部 a～e に関する問いに答えよ。解答は解答欄Ⅲ－Aに記せ。

- a. この中で立法の諮問機関は何というか。漢字で記せ。
- b. 1922年に創立されたこの全国組織を何というか。漢字で記せ。
- c. この制度はどこの国を模範としたか。国名を記せ。
- d. この方針を何と呼んだか。漢字で記せ。
- e. この事件を何というか。

【設問B】 空欄〔 ア 〕～〔 オ 〕にそれぞれもっとも適切と考えられる人物名や事項名を漢字で解答欄Ⅲ－Bに記せ。

【設問C】 空欄（ ① ）～（ ⑩ ）に相当する人物名や事項名を下記の語群から選んでその番号を解答欄Ⅲ－Cに記入せよ。

〔語 群〕

- | | | | |
|----------|----------|----------|----------|
| 1. 県 令 | 2. 尾 張 | 3. 浜口雄幸 | 4. 大村益次郎 |
| 5. 藩知事 | 6. 1871 | 7. 西郷隆盛 | 8. 太政大臣 |
| 9. 肥 前 | 10. 宮内大臣 | 11. 肥 後 | 12. 山県有朋 |
| 13. 1869 | 14. 会 津 | 15. 黒田清隆 | 16. 内大臣 |
| 17. 伊藤博文 | 18. 高橋是清 | 19. 松方正義 | 20. 加藤高明 |

21. 大隈重信 22. 斎藤実 23. 谷干城 24. 知藩事
25. 1868

世界史

〔 I 〕 次の文章を読み、設問 A～C に答えなさい。 (50点)

古代地中海世界は、アウグストゥスの治世から五賢帝の時代にかけてのおよそ200年の間「ローマの平和」(パクス＝ロマーナ)と呼ばれる繁栄と平和が続いた。地中海世界を中心とするローマ帝国の領土が最大となったのは、ダキアおよびメソポタミアを征服した (a) の時代であった。

しかし、3世紀になると帝国のまとまりがくずれはじめ、ついに395年に東西に分裂した。ビザンツ帝国(東ローマ帝国)は、ギリシア古典文化の伝統を継承しつつ聖俗の権力を統合した中央集権的な支配体制を維持した。一方の西ローマ帝国は476年に滅亡し、北方からゲルマン人が大移動していくつかの王国が成立したが、たえず分裂の危機をはらんでいた。そして7世紀のイスラーム世界の西進をきっかけに、かつてのローマ帝国は東ヨーロッパ世界、西ヨーロッパ世界、イスラーム世界という三つの歴史的世界に分裂した。

ゲルマン人が大移動をするきっかけとなったのは、内陸アジアからの騎馬遊牧民族である (b) 人の西進であった。そのうちで着実に領土を広げ、以降の西ヨーロッパ世界の形成に大きな役割を果たしたのはガリア北部に進出したフランク人であった。5世紀末に (c) 家のクローヴィスは領土を拡大し、分立していたフランク人を統一してフランク王国を建て、496年にキリスト教に改宗しローマ＝カトリック教会の支持を受けるようになった。フランク王国は分裂と統合を繰り返したが、8世紀初頭に宮宰 (d) が、ピレネー山脈を越えて侵攻してきたウマイヤ朝のイスラーム勢力を西南フランスで撃退し、西ヨーロッパのキリスト教世界を防衛した。その子ピピン(小ピピン)が751年にローマ教皇の承認を得て (e) 朝を廃し (e) 朝を開いた。ピピンはイタリア半島のランゴバルド王国を破り、ラヴェンナをローマ教会に寄進してフランク王国とローマ教会の関係がいっそう強まった。ビザンツ帝国では、皇帝がギリシア正教会を支配する関係にあったが、西ヨーロッパでは、教皇が王に権威を与え、王が

教皇とキリスト教世界の防衛を引き受けるという関係が生じた。

ピピンの子カール1世（カール大帝，シャルルマーニュ）は、ランゴバルド王国を征服し、東のアヴァール人，南のイスラーム勢力を撃退し，西ヨーロッパの主要部分を統一したことによりフランク王国はビザンツ帝国とならぶ強大国となった。800年にローマ教皇（ f ）がカールに帝冠を授け，「西ローマ帝国」の復活を宣言した。ここにローマ以来の古典古代文化とキリスト教，そしてゲルマン人が融合した西ヨーロッパ中世世界の基礎が築かれた。カールの死後，「西ローマ帝国」は，843年のヴェルダン条約と870年のメルセン条約によって東・西フランクとイタリアの三王国に分裂した。東フランク王国では10世紀の初めに（ e ）家が途絶え，ザクセン家の（ g ）がノルマン人やマジャール人の侵攻を食い止め，北イタリアを制圧して962年に教皇ヨハネス12世により戴冠されて，これが神聖ローマ帝国の起源となった。西フランク王国でも10世紀末に（ e ）家が途絶えユーグ＝カペーが王位につきフランス王国が成立した。

西ヨーロッパは，民族大移動後の長い混乱期の後，11世紀になると気候の温暖化や外部勢力の侵入による混乱もおさまったことで社会が安定し，キリスト教が庶民にまで浸透した。ローマ＝カトリック教会では，教皇を頂点とするピラミッド状の聖職位階制が形成されていたが，③ 荘園などの財産や聖職売買を通して世俗世界との関係を深めていた。これに対して，10世紀中頃より（ h ）修道院に代表される精神的な改革運動がおこった。この動きはカトリック世界全体におよぶ教会改革運動へと成長し，④ 教会の腐敗を糾弾する新たな修道会が設立されていた。改革を進める教皇と教会を統制下に置こうとする神聖ローマ帝国皇帝は，④ 聖職叙任権をめぐる衝突するようになったが，1122年の（ i ）協約で政教分離の妥協が成立し，皇帝は聖職者の任命権を失った。

11～13世紀には，聖地巡礼がさかんになり，最大の聖地であるイェルサレムをイスラーム勢力から奪回する⑤ 十字軍の遠征がヨーロッパ世界の膨張につながった。こうして東西間の交流が活発になり西ヨーロッパ文化の発展が見られた。学問分野では，神学に古代ギリシアの（ j ）哲学を導入した⑤ スコラ学が発展し，ボローニャ，パリ，サレルノなどで大学が成立した。文芸においても，ラテン語以外の俗語による騎士道文学や吟遊詩人による恋愛叙情詩が編まれた。この時代の

文化現象は12世紀ルネサンスと呼ばれる。

設問A 文中の (a) ~ (j) に入る最も適切な語を以下の【語群】からひとつずつ選び、番号を解答欄 I - A に記入しなさい。同一記号は同一語句とする。

【語群】

- | | | |
|----------------|--------------|------------|
| 1. アイユーブ | 2. アッバース | 3. アリストテレス |
| 4. イエズス | 5. ヴォルムス | 6. ウマイヤ |
| 7. オットー1世 | 8. カール=マルテル | 9. カロリング |
| 10. クリュニー | 11. グレゴリウス1世 | 12. ケルト |
| 13. シトー | 14. ソグド | 15. ソクラテス |
| 16. デイオクレティアヌス | | 17. ドミニコ |
| 18. トラヤヌス | 19. ハドリアヌス | 20. ハプスブルク |
| 21. フィリップ4世 | 22. プラトン | 23. ブルボン |
| 24. フン | 25. マジャール | 26. メロヴィング |
| 27. ルイ5世 | 28. レオ3世 | 29. レオ9世 |
| 30. レオ10世 | | |

設問B 下線部①～⑤に関する以下の設問について、aのみ正しい場合は数字の1を、bのみ正しい場合は数字の2を、a・bともに正しい場合は数字の3を、a・bともに正しくない場合は数字の4を解答欄 I - B に記入しなさい。

下線部①

- フランク王クローヴィスはアリウス派に改宗した。
- アリウス派はニケーア公会議で正統とされた宗派である。

下線部②

- a. ウマイヤ朝はダマスカスを首都とした。
- b. ウマイヤ朝は、イベリア半島に入り711年に東ゴート王国を打ち倒した。

下線部③

- a. 中世西ヨーロッパの荘園では三圃制が広くおこなわれていた。
- b. 荘園領主は不輸不入権をもっていた。

下線部④

- a. 13世紀に成立した修道会にフランチェスコ会がある。
- b. フランチェスコ修道会は、無所有を理想とする托鉢修道会であった。

下線部⑤

- a. ビザンツ皇帝からの救援要請を受けて1095年にクレルモン教会会議で十字軍派遣を呼びかけたのは教皇ウルバヌス2世である。
- b. 第7回十字軍は、フランス国王ルイ10世が主導して北アフリカを攻撃したが失敗した。

設問C 以下の文章を読み、文中の下線部(i)~(v)に関する問いの答えを解答欄I-Cに記入しなさい。

- (i) ローマ帝国を東西に分割してふたりの子供に分け与えた皇帝は誰か。
- (ii) カール大帝がイングランド（ブリタニア）から招き、宮廷学校の校長となって文化事業の指揮をとった人物は誰か。
- (iii) 1356年に金印勅書を発布した神聖ローマ帝国皇帝は誰か。
- (iv) カノッサの屈辱と呼ばれる出来事で、神聖ローマ帝国皇帝となるハインリヒ4世を破門した教皇は誰か。
- (v) スコラ学の中心的議論であった普遍論争において、アベラールに代表される唯名論に対して、アンセルムスに代表される議論は何と呼ばれるか。

〔Ⅱ〕 次の文章を読み、設問1～8に答えなさい。

(50点)

14世紀に元朝の支配が衰えると、元との対応をめぐって高麗王朝内でも対立が続いたが、倭寇を破って名声を高めた（ a ）が高麗を倒して王位に就き、国号を朝鮮と定めた。新たに成立した明朝の重要な朝貢国の一つとなった朝鮮は、新進士大夫層に属する鄭道伝らを中心に、科挙の整備や朱子学の導入など、明の制度を取り入れた改革を行った。儒教による王道政治を標榜した世宗は、金属活字による出版や、朝鮮語を表記するための文字である（ b ）の制定など、各種の文化事業を活発に行った。

16世紀以降、両班と呼ばれる有力な家柄の出身者が官僚の大部分を占めるようになると、政治上の実権や学問上の指導権をめぐって、党争と呼ばれる対立がくりかえされた。また、周辺地域からの侵入を受けるなど、政治的混乱が続いた。その後、財政改革や対外政策の整備により、英祖・正祖の時代には政治的安定期を迎えた。

19世紀になると、没落両班である（ c ）が1811年に朝鮮北部で反乱を起こすなど、朝鮮各地で民衆反乱が頻発した。1860年代には、それまで日清両国に外交関係を限定していた朝鮮に欧米諸国が開国をせまるようになり、米仏両国による侵攻事件も起こった。しかし、（ d ）の摂政であった大院君は欧米の開国要求を拒否して攘夷につとめ、朱子学的名分論に立つ衛正斥邪派による主戦論もこれを後押しした。こうしたなか日本が、前年に起こった軍事的衝突事件を口実に朝鮮にせまり、1876年、朝鮮側に関税自主権を認めないなどの不平等な内容をもつ（ e ）を結び、釜山などを開港させた。

朝鮮内部では、攘夷派と改革派との対立に加え、開化（近代化）政策の方向性や、朝鮮に勢力を伸ばそうとした清国や日本への対応策をめぐって改革派内部にも立場の違いが生じ、しばしば政治的に対立した。1894年、折からの弊政に対し、民衆宗教である東学の地方幹部である（ f ）を指導者とする農民蜂起（甲午農民戦争）が朝鮮南西部で起こった。これを機に日本が唱えた朝鮮内政改革案をめぐって日清両国が対立し、日清戦争が勃発した。この戦争の結果、日本は朝鮮に大陸侵略の足場を築いたが、極東で南下をめざすロシアは、1895年、（ g ）

で日本を牽制した。朝鮮は1897年、国号を大韓帝国として（ d ）が皇帝に即位し、朝鮮が独立国であることを示したが、日本とロシアはともに朝鮮の支配をもくろんで対立を深めた。英米両国の経済的援助を背景に対ロシア強硬方針をとる日本はロシアに宣戦し、その講和条約では韓国に対する優越権を認めさせた。他方、日露戦争下において日本は韓国の実質的支配を進めていった。こうした日本の動向に対し、（ d ）は、ロシア皇帝の提唱により行われたハーグ万国平和会議に密使を送って国際世論に訴えようとした。また、朝鮮各地で民衆が（ h ）と呼ばれる反日武装闘争を起こしたりするなどして抵抗した。日本は列強の黙認のもとでこれをおさえ、1910年に韓国を併合した。ソウル（当時、日本は京城と呼称）に統治機関として朝鮮総督府をおき、民族運動を徹底的に弾圧するとともに、経済の植民地的再編成を進めるなどしていった。

日本統治下の朝鮮では、第一次世界大戦後の国際的潮流に呼応して独立への要求が高まり、1919年3月、独立万歳をさげおデモがソウルではじまった。日本は軍隊も動員してこれを鎮圧したが、この事件を受けてそれまでの政策を転換せざるを得なくなった。他方、米騒動などを受けて日本は朝鮮で産米増殖計画と呼ばれる農業政策を進展させるとともに、日本資本の朝鮮進出策を整えていった。1930年代に入り、満州事変をはじめとする日本の大陸進出政策が強化されると、植民地朝鮮においても皇民化政策が進められ、1937年以降、神社参拝の強制や日本語使用の徹底などが図られた。また日中戦争が始まると、労働力不足を補うために多くの人々が労働者として日本本土へ強制的に連行され、またアジア・太平洋戦争末期には徴兵制が実施されるなどした。

設問1 空欄（ a ）～（ h ）に入る最も適切な語句を次の選択肢1～4のうちから一つ選び、解答欄Ⅱ-Aに記入しなさい。なお、同じ記号には同じ語句が入る。

- | | | |
|-----|-----------|-----------|
| (a) | 1. 大祚栄 | 2. 李成桂 |
| | 3. 李舜臣 | 4. 王守仁 |
| (b) | 1. 字喃 | 2. 西夏文字 |
| | 3. 訓民正音 | 4. 契丹文字 |
| (c) | 1. 金玉均 | 2. 洪景来 |
| | 3. 李自成 | 4. 李時珍 |
| (d) | 1. 閔氏 | 2. 世祖 |
| | 3. 太宗 | 4. 高宗 |
| (e) | 1. 日韓協約 | 2. 下関条約 |
| | 3. 日朝修好条規 | 4. 天津条約 |
| (f) | 1. 全瑋準 | 2. 朴泳孝 |
| | 3. 李承晩 | 4. 李光洙 |
| (g) | 1. 三国干涉 | 2. 義和団戦争 |
| | 3. 日露協約 | 4. 露清密約 |
| (h) | 1. 戊戌の変法 | 2. 愛国啓蒙運動 |
| | 3. 義兵闘争 | 4. 東遊運動 |

設問2 波線部(1)の高麗王朝について述べた次の文のうち、正しいものを、次の選択肢1～4のうちから一つ選び、解答欄Ⅱ-Aに記入しなさい。

1. 10世紀はじめ、地方豪族の王建が建てた高麗は、新羅を併合して朝鮮半島を再統一した。
2. 高麗では、骨品制による厳格な身分制の下で国家運営が行われた。
3. 仏教が国教とされ、仏国寺が創建されたり、高麗版『大蔵経』が刊行されたりするなど、仏教文化が繁栄した。
4. 高麗は宋とは冊封関係を結んだが、武力侵入した元には徹底抗戦し、冊封関係を結ばなかった。

設問3 波線部(2)の朝鮮王朝の対外関係について述べた次の文①～③について、古いものから年代順に正しく配列したものを、次の選択肢1～6のうちから一つ選び、解答欄Ⅱ-Aに記入しなさい。

- ① 中国東北部に成立した清による侵攻を受け、冊封・朝貢関係に置かれた。
- ② 豊臣秀吉の二度にわたる侵攻によって朝鮮社会が大きく荒廃する一方、陶工をはじめ多くの朝鮮人が捕虜として日本に連行された。
- ③ 朝鮮が、対馬を倭寇の根拠地とみなして攻撃した。

- | | | |
|----------|----------|----------|
| 1. ①—②—③ | 2. ①—③—② | 3. ②—①—③ |
| 4. ②—③—① | 5. ③—①—② | 6. ③—②—① |

設問7 波線部(6)に関連する次の文のうち、正しいものを、次の選択肢1～4のうちから一つ選び、解答欄Ⅱ-Aに記入しなさい。

1. 三・一独立運動の影響を受け、ウィルソンは14カ条の平和宣言を発表した。
2. 「独立宣言」が発表されたが、三・一独立運動の広がりにはソウル周辺に限定された。
3. 三・一独立運動の影響を受け、日本は朝鮮に対する統治方針を、それまでの「文化政治」から「武断政治」へと転換した。
4. 三・一独立運動後の独立運動の拠点の一つとして、大韓民国臨時政府が上海に樹立された。

設問8 下線部(ア)～(オ)について、次の問いに対する答えを解答欄Ⅱ-Bにそれぞれ記入しなさい。

- ア 下線部(ア)は、経典のうち、それまでの五経に代わって、特に四書を重視した。四書のうち、『論語』『孟子』『大学』と、もう一つは何か。漢字2文字で答えなさい。
- イ 下線部(イ)は、清朝への対抗意識から、皇壇を築いて明朝の皇帝を祀ったりする事業を行った。彼らをはじめとする朝鮮の知識人が、一方で清に朝貢しながら、他方で、明滅亡後、朝鮮こそが中華文明の正統な継承者であると位置づけた自尊意識を何というか。漢字3文字で答えなさい。
- ウ 下線部(ウ)は、在来の民間信仰に儒教・仏教・道教などを融合して創始された宗教である。この東学をはじめたのは誰か。漢字で答えなさい。
- エ 下線部(エ)について、この会議の開催を提唱した人物の名前を答えなさい。
- オ 下線部(オ)に関し、朝鮮の家族制度に日本の家制度を持ち込もうとした政策は一般に何と呼ばれているか。漢字4文字で答えなさい。

〔Ⅲ〕 アメリカ合衆国の歴史に関連する次の文章群A～Nについて、a～cの各文章中の下線部について正誤を判定し、誤りがある文章を次の1～7から選び、その番号を解答欄Ⅲ－Aに記入しなさい。また、[設問] イ～ニに対する解答を解答欄Ⅲ－Bに記入しなさい。(50点)

1. aのみ誤り
2. bのみ誤り
3. cのみ誤り
4. aとbが誤り
5. aとcが誤り
6. bとcが誤り
7. a b cすべて誤り

A 17世紀のヨーロッパ列強による植民地獲得競争に関して

- a イギリスは17世紀初頭にヴァージニア植民地を開き、その南方ではピューリタンの一団がニューイングランド植民地の基礎をつくった。
- b カナダに進出したフランスは、ルイ14世の時代にミシシッピ川流域に進出した。
- c オランダがメキシコ湾岸に築いたニューアムステルダム植民地は、イギリスに奪われた。

B 植民地獲得競争の時期のイギリスに関して

- a イギリスは、17世紀末にインドと北アメリカの両方でフランスを破って優位を確定した。
- b 植民地の獲得で優位に立つイギリスでは、資本の蓄積がすすみ、他国に先がけて産業革命がおこることになった。
- c ヨーロッパでは海外からの嗜好品を消費するようになったが、18世紀のロンドンでは市民の社交と情報交換の場としてコーヒーハウスなどが形成されていた。

- C イギリス領北アメリカ植民地の動向に関して
- a 南部では黒人奴隷を使用するプランテーションが拡大し、北部では自営農による農業や商工業が発達した。
 - b 13植民地では、18世紀末になるまで概して自治自立の気風は弱かった。
 - c 七年戦争後にイギリス本国は植民地への課税と統治を強化したので、植民地人の不満が高まった。
- D 独立宣言に関して
- a 独立宣言は、フランス革命の権利の章典とともに、近代民主政治の基本原理となった。
 - b 独立宣言は、自然法の考えにもとづいて、人間の平等、生命・自由・幸福の追求を含む基本的権利をうたった。
 - c 独立宣言は、1776年7月4日にフィラデルフィアで発表された。
- E 独立運動の推移に関して
- a 本国がレキシントンとコンコードを閉鎖したことに対して、植民地側は最初の大陸会議を開いて本国に抗議した。
 - b 独立戦争の勃発当初から植民地には、イギリス国王に忠誠を表明する者や中立の立場をとる者はほとんどいなかった。
 - c トマス＝ペインの『第三身分とは何か』は、独立の正当性を主張し、大きな反響を呼んだ。

F 独立戦争に関して

- a 独立戦争では、フランスやスペインなどが植民地側にとって参戦した。
- b ヨークタウンの戦いに敗れたイギリスは、1781年のパリ条約でアメリカ合衆国の独立を承認した。
- c 独立戦争で敗れたイギリスは、ナポレオン戦争後のウィーン会議でスリランカやケープ植民地の領有が認められ、植民地帝国拡大への足場をかためた。

G アメリカ合衆国の成立に関して

- a 1787年に制定された合衆国憲法では、三権分立などが定められた。
- b アメリカ合衆国では独立したときすでに強力な中央政府が存在していたことが、合衆国憲法における連邦主義の採用につながった。
- c アメリカ合衆国の独立は、女性の参政権を認めるなどの民主主義的性格から、フランス革命やハイチ独立などと並ぶ「大西洋革命」のひとつと位置づけられる。

H 19世紀前半のアメリカ合衆国に関して

- a 1812年のイギリスとの戦争を通じて、アメリカでは国民意識が高まるとともに、綿工業などの分野で工業化がすすんだ。
- b 農民や都市下層民を重視するジャクソンは、先住民に対しても優遇政策をとった。
- c 1848年のメキシコとの戦争に勝利したアメリカは、さらにその後テキサスも併合して、太平洋にいたる広大な領土を獲得した。

- I 南北戦争期のアメリカ合衆国に関して
- a 南部は綿花輸出のために自由貿易を求め、工業化をすすめる北部は イギリスに対抗するために保護関税政策をのぞんだ。
 - b 南部はプランテーションを維持するために奴隷制の存続を求め、北部では人道主義と自由労働の原則から奴隷制度に反対する声が強かった。
 - c リンカーンは、先住民を強制的にミシシッピ川以西に移住させる法律を戦争中に制定して、西部の支持をかためた。
- J 南北戦争後のアメリカ合衆国に関して
- a 奴隷身分から解放された黒人は、シェアクロッパーとして自営農の地位を保証されたが、投票権は剥奪され、19世紀末には南部で人種隔離制度が拡大した。
 - b 1869年に大陸横断鉄道が完成し、同じ年に「フロンティア」の消滅が宣言された。
 - c 南北戦争の終了とともに、中国人や西欧・北欧からの移民の入国が禁止された。
- K 19世紀末から20世紀はじめのアメリカ合衆国に関して
- a 鉄鋼業のカーネギーやスタンダード石油のロックフェラーなどの巨大独占体が形成されたが、自由放任が尊重されるアメリカでは、20世紀に入っても独占禁止のための方策はとられなかった。
 - b 19世紀末に世界第一の工業国となったアメリカには、東欧・南欧からの移民が大量流入し、貧困などの問題が表面化した。
 - c 実用的な発明を奨励するアメリカでは、モールスが電信機を、ベルが電話を、エディソンが蓄音機・映画・電灯などを発明した。

- L 世紀転換期のアメリカ合衆国の外交に関して
- a アメリカは1898年にスペインとの戦争に勝利して、カリブ海とアジア太平洋地域にも領土を獲得した。
 - b ジョン=ヘイが門戸開放政策を提唱したように、アメリカは植民地獲得を求めて中国の領土分割に参入した。
 - c カリブ海諸国に対して、セオドア=ローズヴェルトは棍棒外交と称される武力による干渉を行ったが、宣教師外交を唱えるウィルソンは干渉を行わなかった。
- M 第一次世界大戦後のアメリカ合衆国に関して
- a ヴェルサイユ条約でウィルソンの提唱した国際連盟の設置が決まり、アメリカは国際連盟を通じて第一次世界大戦後の国際秩序の安定に努めた。
 - b 1920年代には、ドーズ案やヤング案でドイツの賠償金支払い問題の解決にとりくんだ。
 - c アメリカ国内では大量消費の生活様式が生まれ、映画やジャズなどの大衆文化が開花したが、移民法や禁酒法の制定などの保守的傾向も強まった。
- N 世界恐慌から第二次世界大戦の時期のアメリカ合衆国に関して
- a ニューディール政策は、生産調整と価格規制などによる産業の安定と復興、および公共事業による雇用の拡大と労働者の権利保障などを柱とした。
 - b 善隣外交政策をとるフランクリン=ローズヴェルトも、キューバに対しては独立を承認しなかった。
 - c フランクリン=ローズヴェルトとイギリスのチャーチルは大西洋上で会談し、戦後の平和構想を明らかにしたが、この中には戦後の国際連合の基礎理念というべきものも含まれた。

[設問]

- イ 独立宣言の中で主張された、圧政に対する抵抗権の思想に影響を与えたとされるイギリスの思想家は誰か。
- ロ 奴隷制度の拡大をめぐる意見対立のなかで、北緯36度30分以上には奴隷制を認めないと定めた取り決めは、何と呼ばれるか。
- ハ 1909年に北極点にはじめて到達したアメリカ人は、誰か。
- ニ 1989年にアメリカのブッシュ大統領とソ連のゴルバチョフが冷戦の終結を宣言する会談を行ったのは、どこか。

政治・経済

〔 I 〕 次の文章を読み、下の設問（設問 1～設問 6）に答えよ。 (50点)

今日、政治をつかさどる最も重要な組織は国家である。国家は、領土をもち、国民を政治権力の下に統制している。

現在、国家は世界に190以上存在し、国際社会を構成している。国際社会において、国家は、対内的な最高性と対外的独立性を意味する（ア）を認められ、対等な立場で他国と外交や貿易をおこなう。

外交や貿易に関わる国際社会のルールは国際法とよばれる。国際法は、明文化した文書による国家間の合意である（イ）と、各国の慣行が積み重なってきた（ウ）からなる。

国際法は、外交や貿易に関するルールだけではなく、領土問題や武力紛争が生じたときの解決の指針も含んでいる。領土問題は世界各地に存在し、ある土地がどの国に属するのかをめぐって激しい戦闘が繰り広げられることもある。領土問題は、しばしば民族対立や宗教対立とからみあって、ナショナリズムの対立につながりやすいためである。

ナショナリズムに対して、個人を民族や国家をこえた世界市民の一員であるとする思想を（エ）という。このような思想は、個人や企業が国境を越えて活動する近年のグローバル化の進展の下で、教育や人道支援、人権保護、環境保護などの活動に取り組む非営利的な自発的民間団体であるNGOを支える理念のひとつでもある。よく知られたNGOの中には、死刑廃止の活動をおこなっているアムネスティ・インターナショナルや、環境保護団体のグリーンピースの他、第二次世界大戦中ナチス占領下のギリシャ難民への支援活動から始まって国際的な福祉活動をおこなっている（オ）がある。

【設問 1】 文中の（ア）～（オ）に入る最も適切な語句を、解答欄 I - 甲のア～オに記入せよ。ただし、エとオはカタカナで記入せよ。

【設問2】下線部㉔に関連して、次のa～cの記述について、正しいものには数字の1を、正しくないものには数字の2を、解答欄I-乙のa～cに記入せよ。

- a. 自由権の保障を中心にし、国防や治安維持など限定的な役割を担う国家を夜警国家という。
- b. 人々は契約をむすんで国家を作ったとするフィルマーやボシユエの考え方は、社会契約説とよばれている。
- c. 現在では、政教分離を原則としない国家は存在しない。

【設問3】下線部㉕に関連して、次の文章の（ A ）～（ G ）に入る最も適切な語句を、下の語群から1つ選び、その番号を、解答欄I-乙のA～Gに記入せよ。

20世紀の前半までは、国際法は、国内法には備わっているような意思決定機関や裁判所がなく、強制力もないため、単なる理念にすぎず、真に法とは呼べないとも考えられていた。しかし、現在では国際法の制度化が進み、国際法が法であることはほとんど疑われなくなっている。

国際法の制度化は、国際的な意思決定の制度化を必要とする。第一次世界大戦の悲惨な経験を踏まえて、1920年に発足した（ A ）は、その制度化の第一歩であった。これは、当時のアメリカ大統領ウィルソンが提唱した「（ B ）」に示された（ A ）設立案を具体化したものであった。しかし、結局、第二次世界大戦を防ぐことができず、（ A ）は崩壊した。

第二次世界大戦後に、（ A ）の失敗を踏まえて誕生したのが国際連合である。国際連合の中心となるのは、15カ国からなる（ C ）である。このうち、第二次世界大戦の主要な戦勝国である、アメリカ、ソ連（現ロシア）、イギリス、フランス、中華人民共和国（1971年までは中華民国）の5カ国が（ D ）である。

全加盟国は一国一票制で問題を討議し、決議に基づいて、加盟国や

(C) に対して勧告をおこなう (E) を構成する。

また、現在、国際法に基づく解決をおこなうための国際裁判所も存在する。
(F) は、国家間の紛争解決のために、1945年からオランダのハーグに設置されている。ジェノサイド罪や人道に対する罪、戦争犯罪などの重大犯罪をおかした個人を裁くための (G) の制度もある。

[語群]

- | | | |
|--------------|--------------|-------------|
| 1. 政府間国際組織 | 2. ヴェルサイユ体制 | 3. 国連憲章 |
| 4. 常設仲裁裁判所 | 5. 国際刑事裁判所 | 6. 常任理事国 |
| 7. 事務局 | 8. 経済社会理事会 | 9. 総会 |
| 10. 安全保障理事会 | 11. 開発援助委員会 | 12. 国連軍 |
| 13. 独立国家共同体 | 14. 国際連盟 | 15. 国際司法裁判所 |
| 16. 欧州人権裁判所 | 17. 専門機関 | 18. 国際海洋裁判所 |
| 19. 国際司法共助 | 20. IMF体制 | 21. 新国際経済秩序 |
| 22. 平和原則14カ条 | 23. 永遠平和のために | 24. 永久平和論 |

【設問4】 下線部◎に関連して、次の文章の (カ) ~ (ク) に入る最も適切な語句を、解答欄I-甲のカ~クに記入せよ。ただし、カは漢字1字、キは漢字3字、クは漢字2字で記入せよ。

ナショナリズムは、1789年のフランス革命に端を発し、19世紀のドイツやイタリアでの近代国民国家の確立のためのスローガンとなった。19世紀から20世紀にかけては、西欧先進資本主義諸国による、発展の遅れた地域への領土拡大運動である (カ) 国主義とむすびつき、他国や他民族への侵略の正当化にも使われた。第二次世界大戦後には、アジア・アフリカなど諸地域が、西欧先進資本主義諸国を宗主国とした (キ) 支配から脱して独立を果たし、自民族による新国家を建設する原動力となった。

国家の建設と維持には、政治的基盤とともに経済的基盤が必要となるが、石油・銅・天然ゴムなどの生産物について、他国の介入を排して、自国の権益を確保しようとする考え方を (ク) ナショナリズムという。

【設問5】下線部㊸に関連して、次の文章の（ H ）と（ I ）に入る最も適切な語句を、下の語群から1つ選び、その番号を、解答欄I-乙のHとIに記入せよ。

グローバル化が進む一方で、現代世界経済では、地域経済統合の進展もみられる。地域経済統合の例としてはEU（欧州連合）が代表的であるが、北米ではアメリカ、カナダ、（ H ）によるNAFTA（北米自由貿易協定）がある。一方、南米にはブラジル・アルゼンチンなど6カ国による（ I ）がある。

[語群]

- | | | |
|---------|-----------|----------|
| 1. メキシコ | 2. ベネズエラ | 3. アラスカ |
| 4. アセアン | 5. メルコスール | 6. ブリックス |

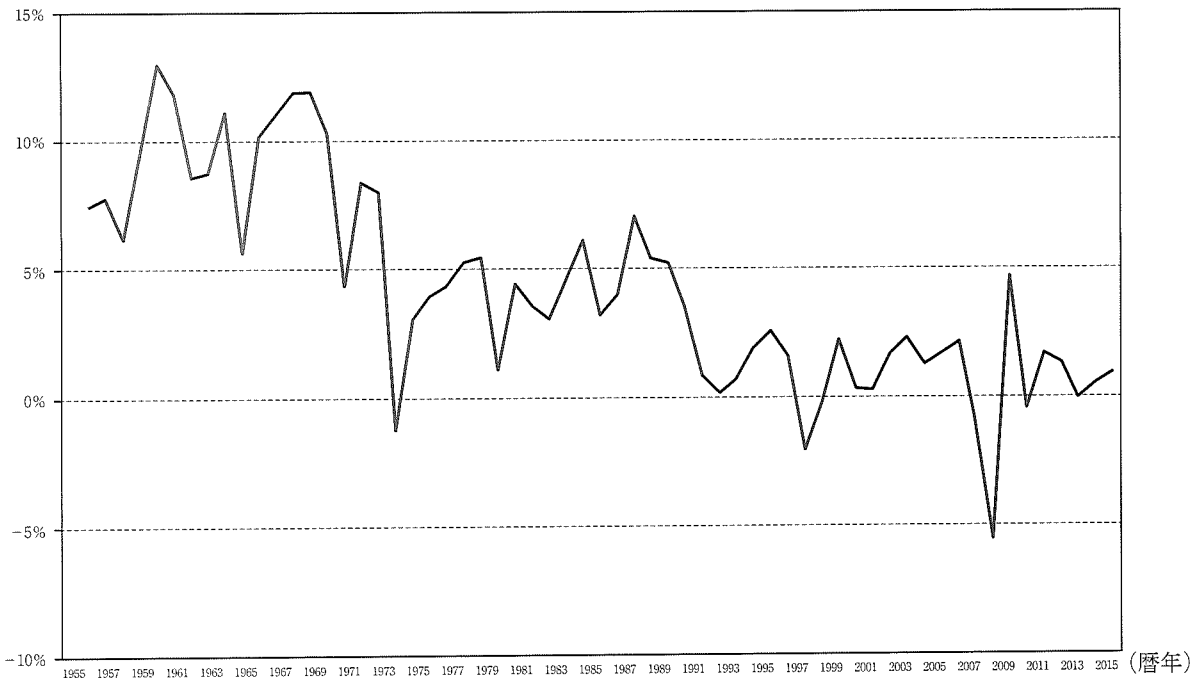
【設問6】下線部㊸に関連して、グローバルに活動する企業などの人権・労働基準・環境・腐敗防止に関する自主規制の国際的10原則をあらわすものとして最も適切なものを、次の1～4のうちから1つ選び、その番号を、解答欄I-乙に記入せよ。

1. CSR（企業の社会的責任）
2. ヘルシンキ宣言
3. グローバル・コンパクト
4. アパルトヘイト

〔Ⅱ〕 次の文章を読み、下の設問（設問1～設問11）に答えよ。（50点）

経済活動を全体としてとらえるために、SNA（（ア）体系）とよばれる一連の統計が作成されている。国内総生産はSNAにおける代表的な指標であり、その変化率は経済成長率とよばれる。下の図は、内閣府『（ア）年報』各年版を使って作図した1955年から2016年までの日本の実質経済成長率の推移である。

図 日本の実質経済成長率



日本では、1950年代半ばから好景気があいつぎ、高度経済成長とよばれる、年率平均10%前後の経済成長がなとげられた。高度経済成長が実現した背景として、数多くの国内要因と国際要因が指摘されている。

1970年代に入り、第一次石油危機がおこると、石油依存度が高まっていた日本経済は大混乱におちいり、高度経済成長は終焉をむかえた。1979年には第二次石油危機がおきた結果、経済成長率は低下し、平均4%の安定成長期に移行した。その後、先進国間の政策協調により円高が急速にすすんだが、1987年のG7の

(イ) 合意によってようやく円高ドル安の進行が緩やかになった。そして、低金利政策の継続と不動産や株式への投機によってバブル経済が発生したため、日本銀行の金融引き締めや、政府による規制などが行われた。その結果、バブル経済は崩壊した。

1990年代には、国内の不況とグローバル化が急速に進展するなかで、戦後を支えた諸制度が行きづまりをみせ、景気停滞はつづき、財政も悪化した。当時の内閣は「聖域なき構造改革」を掲げて、規制緩和や民営化により経済の活性化をはかった。金融不安が収束に向かい、世界的な好景気にも支えられ、2002年には日本経済は不況を脱し、(ウ) 景気とよばれる好景気が2007年まで続いた。しかし、2008年にはアメリカ発の金融危機が世界全体に波及し、日本もその影響を受けて不況に突入した。さらには、欧州サブリン危機や、アメリカの景気低迷に起因する円高などもあって、輸出が低迷した。

【設問1】文中の(ア)～(ウ)に入る最も適切な語句を解答欄Ⅱ-甲のア～ウに記入せよ。ただし、イはカタカナで、ウはひらがな4字で記入せよ。

【設問2】下線部②に関連して、SNAの体系について、以下の文章の(エ)～(ク)に入る最も適切な語句を、解答欄Ⅱ-甲のエ～クに漢字で記入せよ。

SNAにおけるフローの代表的な指標がGDP（国内総生産）であり、一定期間内に国内で生み出される付加価値の合計をあらわす。GDPに海外からの所得の純受け取りを加えたものは、分配面でいう(エ)となる。(エ)から、設備等の劣化を示す(オ)を差し引いたものは、国民純所得とよばれる。これらは(カ)表示で計測されている。国民純所得から間接税（生産・輸入品に課される税）を引き、(キ)を加えると(ク)表示の国民所得になる。

【設問3】下線部㉔に関連して、この時代に起きた好景気を、起きた順に正しく並べたものを、次の1～5のうちから1つ選び、その番号を、解答欄Ⅱ－乙に記入せよ。

1. いざなぎ景気→オリンピック景気→岩戸景気→神武景気
2. 神武景気→オリンピック景気→岩戸景気→いざなぎ景気
3. いざなぎ景気→岩戸景気→オリンピック景気→神武景気
4. 神武景気→岩戸景気→オリンピック景気→いざなぎ景気
5. 神武景気→いざなぎ景気→オリンピック景気→岩戸景気

【設問4】下線部㉕に関連して、高度経済成長の国内要因として、**適当でないもの**を次の1～4のうちから1つ選び、その番号を、解答欄Ⅱ－乙に記入せよ。

1. 活発な民間設備投資
2. 内需主導型政策
3. 間接金融による下支え
4. 国民の高い貯蓄率

【設問5】下線部㉖に関連して、高度経済成長の国際要因として、**適当でないもの**を次の1～4のうちから1つ選び、その番号を、解答欄Ⅱ－乙に記入せよ。

1. 資本主義諸国を中心に世界経済が順調に拡大したこと。
2. 安価な原料・燃料資源を入手できたこと。
3. 保護貿易が進展したこと。
4. 円安による有利な貿易条件をえたこと。

【設問6】 下線部㉔に関連して、次の文章の（ A ）～（ C ）に入る最も適切な語句を、下の語群から1つ選び、その番号を、解答欄Ⅱ－乙のA～Cに記入せよ。

1971年8月にドル防衛のためにアメリカ大統領（ A ）が発表した経済政策が引き起こした（ A ）－ショックによって円＝ドル為替レートが切り上げられ、（ B ）に移行した。日本経済に動揺がつづくなか、（ C ）がおこり、第一次石油危機のきっかけとなった。

[語群]

- | | | |
|------------|------------|--------------|
| 1. ケネディ | 2. ニクソン | 3. レーガン |
| 4. 金＝ドル本位制 | 5. 固定為替相場制 | 6. 変動為替相場制 |
| 7. 第3次中東戦争 | 8. 第4次中東戦争 | 9. イラン＝イラク戦争 |

【設問7】 下線部㉕に関連して、次の1～4のうち、最も適切なものを1つ選び、その番号を、解答欄Ⅱ－乙に記入せよ。

1. 第二次石油危機が起きた1979年の消費者物価指数（総合）の対前年同月比は、年率15%を超えていた。
2. 第二次石油危機では、イランは原油輸出を全面禁止した。
3. 第二次石油危機では、石油輸出国機構が原油価格を4倍に引き上げた。
4. 第二次石油危機が起きた1979年に、日本の実質経済成長率はマイナスとなった。

【設問8】 下線部㉖に関連して、G7に含まれる国を、次の1～4のうち1つ選び、その番号を、解答欄Ⅱ－乙に記入せよ。

- | | |
|------------|---------|
| 1. オーストラリア | 2. オランダ |
| 3. イタリア | 4. ベルギー |

【設問9】 下線部⑥に関連して、次の文章の（ D ）～（ F ）に入る最も適切な語句を、下の語群から1つ選び、その番号を、解答欄Ⅱ-乙のD～Fに記入せよ。

1985年の円高不況に対する金融政策とドル買い・円売りによって増大した通貨が、株式や土地の購入に向かい、資産価格がさらに高騰したため、金融引き締めとともに、（ D ）税の導入、不動産向け融資に対する総量規制などがおこなわれた。その後、資産価格が50%以上下落し、金融機関は多額の不良債権をかかえて経営不振に陥った。政府は金融システムの安定をはかるために、（ E ）と（ F ）を1998年に成立させた。（ E ）は金融システムの安定化をはかるため、金融機関の破綻処理の方法などを定めた法律であり、（ F ）は経営破綻を未然に防ぐ目的で、金融機関に公的資金を注入するための法律である。

[語群]

1. 消費
2. 不動産取得
3. 地価
4. 固定資産
5. 金融規制改革法
6. 金融商品取引法
7. 金融システム改革法
8. 金融健全化法
9. 国民保護法
10. 金融再生法

【設問10】 下線部①に関連して、「聖域なき構造改革」として**適当でないもの**を、次の1～4のうち1つ選び、その番号を、解答欄Ⅱ-乙に記入せよ。

1. 市場化テスト法の成立
2. 道路関係4公団の民営化
3. 中央省庁再編（1府12省庁制への移行）
4. 国立大学の法人化

【設問11】 下線部①に関連して、P I I G Sと呼ばれ、欧州ソブリン危機に直面した国として、**適当でないもの**を、次の1～4のうち1つ選び、その番号を、解答欄Ⅱ－乙に記入せよ。

- | | |
|-----------|-----------|
| 1. アイスランド | 2. イタリア |
| 3. スペイン | 4. アイルランド |

〔Ⅲ〕 次の文章を読み、下の設問（設問1～設問5）に答えよ。 (50点)

日本には多くの中小企業が存在する。これら中小企業に対する政府の施策を定める（ア）は、その第2条1項で、卸売・小売業とサービス業以外の産業における中小企業を次のように定義する。

「一（イ）の額又は出資の総額が三億円以下の会社並びに常時使用する従業員の数が（ウ）人以下の会社及び個人であって、製造業、建設業、運輸業その他の業種（次号から第四号までに掲げる業種を除く。）に属する事業を主たる事業として営むもの。」

中小企業は、『中小企業白書2017年版』によると2014年において、企業数では、全企業の約（i）%を占め、従業員数では、すべての従業員の約（ii）%を雇用する。そして、中小企業に対置するのが大企業である。これら中小企業と大企業は、経済活動において、財やサービスの供給主体としては同じ機能を担うものの、その規模に基づく差異は大きい。具体的には、中小企業と大企業の間には、生産活動における効率性の違いや、そこで働く労働者の労働条件に関する違いがある。

また中小企業は、その中に多様性が存在する。その多様性を反映し、中小企業の持つ課題も多様である。その一つが日本の（A）が中小企業経営に対してもたらすインパクトである。事業主が、退職したいと思う年齢に達した時、今まで自分が経営してきた事業を閉じるか、それとも誰かに事業を委ねて、事業を継続させるかの選択をしなければならない。継続させる場合には、だれに事業を託すか、つまり（B）を人選することになる。中小企業の大半を占める零細企業では、従業員が家族と親族で、事業の継続を事業主の子供に託すことが多かった。しかし、現在、事業主の子供が少なかったり、いない場合も多くなっている。その結果、（B）を自分の子供から人選できず、事業の承継をあきらめるケースが増えている。

【設問1】文中の（ア）～（ウ）に入る最も適切な語句や数字を、解答欄Ⅲ－甲のア～ウに記入せよ。また、文中の（A）と（B）に入る最も適切な語句を、下の語群から1つ選び、その番号を、解答欄Ⅲ－乙のAとBに記入せよ。

[語群]

- | | | |
|-------------|-------------|---------|
| 1. 後見人 | 2. 経済のソフト化 | 3. 後継者 |
| 4. 経済の国際化 | 5. 社会の情報化 | 6. 外注業者 |
| 7. インキュベーター | 8. 人口の少子高齢化 | |

【設問2】下線部㉔の（i）と（ii）に入る最も適切な数値の組み合わせを、次の1～4のうちから1つ選び、その番号を、解答欄Ⅲ－乙に記入せよ。

- | | |
|-------------|-----------|
| 1. (i) 99 | (ii) 90 |
| 2. (i) 99 | (ii) 70 |
| 3. (i) 80 | (ii) 70 |
| 4. (i) 80 | (ii) 50 |

【設問3】下線部⑥に関連して中小企業の特徴に関する以下の文章の文中の（エ）～（ク）に入る最も適切な語句を、解答欄Ⅲ-甲のエ～クに記入せよ。ただし、エは、漢字5文字で記入せよ。また、（C）と（D）に入る最も適切な語句を、下の語群から1つ選び、その番号を、解答欄Ⅲ-乙のCとDに記入せよ。

中小企業は、企業が作り出す付加価値額の総額を投入された労働で割った（エ）が大企業とくらべ低いことが特徴の一つである。この低い（エ）については、様々な原因が考えられるが、一つは企業の保有する機械設備等の有形固定資産額を従業員数で割った、従業員一人当たりの（C）が大企業とくらべ低いことが考えられている。

もう一つの理由としては、多くの中小企業が、大企業の（オ）企業であることがあげられる。（オ）企業は、大企業が生産する製品の部品等の生産を担当する企業であり、特定の大企業からの生産委託にたよる場合が多い。そのため、それら企業の製造する部品等について価格交渉力が弱く、価格を引き上げにくい。このような中小企業の中でも、特定の企業のみと取引を行い、資金や技術の援助を受けている中小企業は、（カ）企業とよばれる。

また、中小企業は平均的にみれば大企業とくらべ賃金が低い。この理由の一つは、中小企業においては、労働条件の改善を図る目的で従業員によって組織される（キ）の組織率が企業よりは低いことである。そのため、（キ）が組織されていない多くの中小企業において、従業員は、経営者に対し強い交渉力を持たず、その結果、それらの中小企業では、賃金を大企業ほどには引き上げることができなかった。以上のような理由で生まれた大企業と中小企業の間には存在する大きな経済格差は、経済学者の有沢広巳の指摘によって日本経済の（ク）とよばれるようになった。

また、日本の中小企業は、戦後の日本の経済成長の過程で、中小企業が大企業の景気変動による生産調整の手段として用いられることに着目し、中小企業は（D）の役割を担ってきたとも言われている。

[語群]

- | | |
|-----------|-------------------|
| 1. 資本回転率 | 2. 企業集団 |
| 3. 格差是正 | 4. 資本装備率 |
| 5. 自己資本比率 | 6. ビルトーインースタビライザー |
| 7. 機械化率 | 8. 景気の安全弁 |

【設問4】下線部㉔に関連して以下の文章の（ E ）～（ G ）に入る最も適切な語句を、下の語群から1つ選び、その番号を、解答欄Ⅲ-乙のE～Gに記入せよ。

各地域の特性や伝統を生かした特産品を生産する中小企業が多数存在する。例えば良質な陶磁器の製作に適した粘土層が存在する地域に陶磁器製造業が発達し、また良質の水に恵まれた地域では、日本酒の製造が発達してきた。このような地域の特性を反映した産業を（ E ）とよぶ。

もう一つの類型は、近年の新技术を用いた新商品の提供や新たなサービスの創造を通して、新規に起業された中小企業群である。これら果敢に新市場に挑戦する企業群は、一般に（ F ）とよばれる。また、新興中小企業の中には、マーケットが小さいため、大企業が参入していない特殊な製品の製造に特化し、その結果、大きな市場占有率を獲得していることから（ G ）企業とよばれているものもある。これらの中小企業が生まれてくることで、日本の産業の活力が維持されている。

[語群]

- | | | |
|----------|----------------|------------|
| 1. グローバル | 2. 国内産業 | 3. I o T企業 |
| 4. 前近代産業 | 5. ベンチャービジネス | |
| 6. 寡占 | 7. 研究開発型企业 | 8. ニッチ |
| 9. 六次産業 | 10. ベンチャーキャピタル | |
| 11. 地場産業 | 12. 独占 | |

【設問 5】 下線部㉔に関連して、次の a～e の記述について、正しいものには数字の 1 を、正しくないものには数字の 2 を、解答欄Ⅲ－乙の a～e に記入せよ。

- a. 2005年以降、10年間をみれば日本の開業率は、アメリカおよびイギリスの開業率を上回る。
- b. 日本では、2006年に施行された会社法によって、合同会社の設立が可能となった。
- c. 2010年以降、2016年までは、日本の倒産件数は大きく増加している。
- d. 2000年に大規模小売店舗法が改正され、それまでの中小企業に対する保護政策は見直された。
- e. 日本の廃業率は、1990年代後半に大きく低下し現在も低い水準が続いている。

数 学

〔 I 〕 次の に適する数または式を、解答用紙の同じ記号の付いた の中に記入せよ。

(1) 関数 $y = f(\theta) = (1 + \sin \theta) \cos^2 \theta$ ($0 \leq \theta \leq \frac{\pi}{2}$) は $t = \sin \theta$ とおくと、 t の多項式 $y = g(t)$ ($0 \leq t \leq 1$) として表すことができる。
 $y = g(t) =$ ア であり、 $y = f(\theta)$ ($0 \leq \theta \leq \frac{\pi}{2}$) の最大値は イ であり、最小値は ウ である。

(2) 半径 r の円に内接する三角形の 3 辺の長さを a, b, c とし、その三角形の面積を S 、3 辺の長さの和を $L = a + b + c$ とする。

このとき $\frac{abc}{S}$ を r を用いて表すと $\frac{abc}{S} =$ エ である。

半径 r の円に内接する三角形のうち、面積が最大となる三角形の S とそのときの L を、 r を用いて表すと $S =$ オ 、 $L =$ カ である。

(3) 半径 1 の球面 K と交わる平面 H と球面 K との共通部分である円 E の半径を r ($0 < r < 1$) とする。円 E の中心 O を通り、平面 H に垂直な直線と球面 K との交点のうち平面 H から遠い方の点を D とする。このとき、 $OD =$ キ であり、円 E を底面とし、点 D を頂点とする直円錐の体積 W は ク である。

円 E の円周上の異なる 3 点を頂点とする三角形を底面とし、点 D を頂点とする三角錐のうちで体積最大となる三角錐の体積を V とすると、 $\frac{W}{V} =$ ケ である。

(4) 四面体のすべての頂点が半径 1 の球面上にあるとき、この四面体は半径 1 の球に内接するという。半径 1 の球に内接する四面体のうち、体積が最大となる四面体の体積は コ である。

〔 II 〕 実数 x に対し、 $n \leq x < n+1$ となる整数 n がただひとつ存在するので、その整数 n を $[x]$ と記す。 a, b を実数とする。2 次方程式 $x^2 + ax + b = 0$ が異なる 2 つの実数解 α, β ($\alpha < \beta$) をもち、 $[\alpha + \frac{1}{2}] = -2$ 、 $[\beta + \frac{1}{2}] = 2$ であることがわかっている。次の問いに答えよ。

(1) a の値がとりうる範囲を求めよ。

(2) ab 平面の点 (a, b) が存在する領域を求め、それを ab 平面に図示せよ。

〔Ⅲ〕 1から8までの異なる自然数をそれぞれ1つずつ書いた8枚のカードが中の見えない箱に入っている。8人が4人のチームA, 4人のチームBの2チームに分かれ, 8人が箱からカードを1枚ずつ取り出し, カードに書かれた数を確認し, その数を取り出した人の得点とする。取り出したカードは戻さないこととする。各チームについて, チームに属する4人のメンバーの得点の合計をそのチームの得点とし, 得点が高い方のチームが勝ちとなるゲームを行う。両チームの得点が等しいときは引き分けとする。次の問いに答えよ。

- (1) チームAが勝つ確率を求めよ。
- (2) チームAの1人が8を書いたカードを取り出したことがわかっているとき, チームAが負ける確率を求めよ。
- (3) チームAの得点がチームBの得点の約数となる確率を求めよ。
- (4) 両チームの得点の差が8以上となる確率を求めよ。